

令和5年度生涯大学修了式あいさつ （2024年3月25日三翠園）

高知県高坂学園生涯大学・学長の奥田一雄です。

修了生のみなさま、本日はまことにめでたうございます。令和5年度、427名の方々が高知県高坂学園生涯大学を晴れて修了されることとなりました。ここに生涯大学を代表し、心よりお祝いを申し上げます。また、高知県知事、高知市長を始め、ご臨席を賜りましたご来賓の方々には、日頃から生涯大学の活動に深いご理解と温かいご支援をいただいておりますこと、厚くお礼申し上げます。そして、本年度修了生にとってのこの良き日を、ここに参加されます皆さますべての方々とともに、お喜び申し上げます。

さて、修了生のみなさん、この1年間、生涯大学でどのような活動をしてきたのかを少し振り返ってみましょう。

みなさんは月2回教室に集まり、午前と午後の講義を受けてきました。暑い日寒い日雨の日も風の日もあったでしょう。大学に通うのを楽しみにして、その日は各自、服装を整え、おしゃれをして登校しました。それは、クラスメートや友達に会ってお話するため。そして、みんなと一緒に弁当を食べ、共に学び、友と学びました。年間20回開講される講義の中には、感動して心を震わせる内容があったり、いままでに知らなかった新しい知識や世界を見聞きして視野を広げ、また、楽器演奏を聴いたり、歌を歌うなどの体験授業もあったことでしょう。

生涯大学での活動は学習だけには留まりません。春の学外研修、そして秋には一泊二日の研修旅行もありました。クラスメートや友達と一緒に楽しく社会勉強し、観光も満喫しました。学外研修の間は開放的な気持ちになります。そこでは、様々な経験をもった学生同士が出会い、互いに声を掛け合って交わることで、友達の輪を広げることができたのではないのでしょうか。

生涯大学を語る上で、忘年会は外せません。各組には少なからず役者が揃っています。それらの学生が主導して歌あり、踊りありのいろいろな出し物が出てきます。さらには、他の多くの学生も次々に舞台に上がってきて物怖じせず堂々と自分をアピールするのです。このように、みんなと一緒に活き活きと大いに楽しむこと、これが生涯大学の学生気質であり、若さの源になっていると確信します。

生涯大学の特徴は何と言っても学生による自主運営です。つまり、生涯大学はそこで学ぶ学生自身が、生涯大学の企画・実施に係るすべての活動を担っているということです。たとえば、講師の先生を決めて年間の授業計画を作成します。学外研修や忘年会の企画と準備も行います。これらは各組の代表、役員、班長を始め、他の多くの学生が分担・協力し合って進めており、これこそが創立以来連綿と受け継いできた生涯大学独自の伝統といえます。

最後に、修了生のみなさんへ、このような素晴らしいわたしたちの高知県高坂学園生涯大学を誇りに思い、これからもみなさん一人ひとりが元気で楽しく支え合うことで、この生涯大学がさらに発展していけるよう祈念申し上げ、私からのお祝いの言葉とさせていただきます。

ありがとうございました。

以上

---